

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立篠山養護学校長 高 森 俊 広

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第3回 篠山養護学校運営協議会実施報告書

1 学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 令和3年2月17日(水) 19時00分～20時00分
(2) 開催場所 篠山養護学校 会議室

2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏名	所属等	出欠	氏名	所属等	出欠
押田 正克	通園センター施設長	○	遠山 雅治	篠山青年会議所理事長	○
山根 教子	篠山養護学校PTA副会長	○	岸本 剛次	前沢田自治会会長	○
西村 尚徳	篠山養護学校PTA事業部長	○	高森 俊広	篠山養護学校校長	○
泉 より子	民生委員児童委員協議会	○	山本 真	篠山養護学校教頭	○
西嶋登代美	手をつなぐ育成会会長	○	岡澤 直樹	篠山養護学校主幹教諭	○

3 傍聴人数 (0) 名

4 議題及び会議の公開又は非公開の別 (協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること) 主な協議事項及び主な意見内容 (審議の概要)

1. 3学期の学校、幼児児童生徒の様子について (公開)

- ・幼児児童生徒の様子については新型コロナの感染はなく、元気で過ごしていることを説明した。不登校やその傾向がある者、医療的ケアが必要な幼児や生徒についても、課題はあるが丁寧に対応していることを説明した。
- ・ささよう発表会は公開範囲を限定して実施し、委員の方にも参観を控えていただいたが、子どもたちの成長が見られた事を報告した。
- ・看護師の離職理由についての質問があった。ケアの難しさ等があることを伝えた。他の障がい者施設でも同様の課題があるとの意見があった。

2. 学校関係者評価 (公開)

- ・AやBの評価の基準があいまいではないか。自己評価がAなのにできていないところがあるという考察はそれが表れているのではないか。取り組んだ結果が見えるほうが良い。
- ・子どもたちに基本的な生活習慣を身につけさせることは大変重要である。支援がいる子どもたちは生活習慣が崩れやすい。成人になってもその課題はある。
- ・保護者にも支援がいる場合があり、保護者の心のケアをする機会なども必要である。
- ・性教育は支援の必要な子どもたちには重要な課題である。ジェンダーについても様々な場面で考える必要があると思う。
- ・学校の避難所としての機能は果たせる状態なのか。マニュアルはあってもなかなかうまくいかないことも多い。障がいのある人たちが安心して避難できるように進めてほしい。
- ・情報機器の活用やモラルについてもこれからは必要性が高まる。
- ・保護者へのアンケートで、少数だが否定的な回答をされている項目がある。答えにくい項目であるなら質問を工夫したり、学部ごとにアンケートをとったりするのはどうか。等の意見をいただいた。

3. 学校運営協議会の取組みについて (公開)

- ・多くの行事が中止となり残念だったが、ささよう音楽会など可能な範囲で取り組めた。
- ・本事業への委託料の使用について承認いただいた。
- ・来年度も社会情勢によるが、できる限り事業を進めていくことを確認した。

5 会議資料の名称

- ・第3回篠山養護学校運営協議会資料

6 今後の予定及び方向性

- ・卒業式や入学式等の予定を伝えた。本来なら式典に出席を依頼するが、来賓を控えることを了承していただいた。
- ・次回の会合は新年度となり、委嘱状交付や学校運営方針の承認、1年間の計画等を検討する。

7 次回開催予定

- (1) 開催日時 令和3年5月中旬 19時00分 ～20時30分
(2) 開催場所 篠山養護学校 会議室

※ 「出席状況」は、出席の場合には○、欠席の場合には×を記入願います。
欠席の場合、出欠欄に欠席事由を簡潔に記入ください。(仕事・別会合出席・その他)